

2018年9月議会 予算審査特別委員会

<<くらし創造部、景観・環境局、警察本部>

2018・10・2 今井光子議員の質問

*議会の音声資料から作成したもので公式の会議録ではありません
日本共産党奈良県会議員団

奈良の彩り推進事業

せっかくの事業。実績効果の調査も含めて実態把握が
かかせない

今井光子議員 奈良の彩りの推進事業についてですけれども、本当に今、馬見丘陵公園などもチューリップフェアをはじめといたしまして、大変四季折々、花が咲き乱れるような状況になってきておりますが、今後、さらにそれを拡大していくという計画などがあるようでしたら、そのあたりをお尋ねしたいと思います。

伊賀景観・自然環境課長答弁 奈良県の植栽計画は、奈良県全体が調和のとれた一つの庭となることを目指して、県内各地の特徴ある景観を有する一定の地域を、小さな庭、これ小庭、エリアと呼んでおりますが、エリアとしまして、植栽景観を整えております。平成29年度末時点で54カ所のエリアを設定しました。さらに、県関係課及び市町村と協議しつつ、新規エリアの検討も進めており、平成30年度、今年度ですけれども、五條市で賀名生皇居跡周辺と五條北の玄関口の2つのエリアを追加したところでございます。今後も県関係課及び市町村と協議しつつ、新規エリアの検討、追加を進めてまいりたいと考えております。

一方、市町村への支援制度としまして、奈良県植栽による景観向上推進事業費補助金を設けまして、エリア内の個別の整備計画につきまして、予算の範囲内で事業費の2分の1を補助しております。平成30年度は、具体には五條市、生駒市、御杖村、高取町、明日香村、広陵町、天川村の7市町村から要望があり、事業の促進を図っているところでございます。また、古都買い入れ地等における植栽地整備につきましては、維持管理をしていただく地域住民団体等に対しまして、必要な物品等を支給したりして、維持管理に努めているところでございます。また、普及啓発活動としましては、平成26年度からシンボルマークプレートを設置し、平成29年度末までに36カ所設置し、平成30年の今年度には平城宮跡歴史公園、また、矢田丘陵、大和民俗公園など8カ所に設置を予定しております。さらに、全県的、継続的な横展開を図るため、植栽景観のジャーナルを、年一、二回発刊、配付するとともに、「なら四季彩の庭」のホームページを開設し、普及啓発に努めてるところでございます。

今井委員 ぜひ検討いただきたいと思います。この緑化事業は、せっかくきれいにお花を咲いたり、大宮通りなどにもあったりしても、枯れてそのままというようなときもありますので、そうした後の維持管理も含めまして、地域の方の協力も得ながらやっているということですので、そうしたものも含めて、本当にお花きれいだなというふうに思えるようなことで進めていただきたいと思っております。

川上村迫の山崩れ跡地の植栽

住民が探していたお地蔵さん。植栽にも住民の願い
が盛り込んで

今井光子議員 これは要望になりますけれども、2011年の12号台風のときに、川上村の迫の山崩れが起きまして、地すべりが起きまして、そして、大滝ダムのところに全部それが入り込んだというようなことが

ございまして、あそこの道路というのか、橋というのか、それが壊されたことがございました。そのときに、私も翌日でしたか、災害のすぐ直後に行かせていただきましたときに、地元の方が一生懸命何かを探してるのがございまして、何を探してるのかと聞いたら、お地藏さんを一生懸命探しておられました。

そのお地藏さんは、大滝ダムのダム湖に沈む、その集落のときに大事に祭られていたもので、そして、上のところに移転したときにもそのお地藏さんを持っていかれたということなんですけれども、あれほどの災害があっても、結局一人も犠牲もなく、あったということで、皆さんがやっぱりそのお地藏さんが守ってくれたんじゃないかというような、そんな思いを持っておられまして、一生懸命探してたというのがございました。実際には見つからなかったように聞いておりますけれども、あそこの山崩れの後、もう木が丸ごと地すべりで崩落いたしまして、今、土がそのままというような状況になっておりますけれども、この植栽の事業の関連で、例えばお地藏さんの形が、秋になれば紅葉で浮かび上がるとか、その形でお花が、春になったら桜が咲くとか、どのようなものが、岩が出ております地盤ですので、できるのかよくわかりませんが、何かそういうようなものがあれば、ただ単にそのときにきれいになっていうんじゃないかと、こういうことがあったという、その地域の後世の人たちにも知ってもらえるようなものになるんじゃないかなと思っております、私も何度かこのこと言ったことがあるんですが、なかなか実現ができていないんですけれども、こうした計画をつくるという事業もありますので、ぜひそうしたことについてもご検討いただけたらなと思っております。

その点について、わかりましたらお尋ねをしたいと思います。

伊賀景観・自然環境課長答弁 それとあと、要望ということで川上村の件がありましたけれども、この川上村の迫地区につきましては吉野川沿いのエリアということで、既にエリア設定されております。その中で、川上村役場周辺では、役場前のウエルカムゾーンにサツキやツツジ、ハナミズキなどを植栽して、来訪者に喜んでいただいております。また、大滝ダム湖周辺につきましては、川上村が杉一辺倒の森林で冬も緑色なんですけれども、そこに彩りのために、山桜であるとか、もみじであるとかを植栽して、彩りを図っております。

委員お述べの崩壊地ですね、その崩壊地につきましても、その処方の一つになっておりまして、今現在の復旧にあわせまして、斜面の緑化を図るということ聞いております。ちょっとお地藏さんが出せるとか、ちょっと森林アートみたいな形になるかと思うんですけど、その辺については、技術的にはちょっと私のほうではわかりませんので、またいろいろ、そういう話あったということを知りたいと思っております。

高齢者の免許の更新

予約をとるのに大変な時間がかかる。改善策を

今井光子議員 警察のほうにお尋ねしたいと思います、高齢者の方が免許の取得を取るのになかなか予約がとれないというような声が届いております、聞いた方は、5月に申し込んで8月になったというようなことを聞いておりますけれども、昨年は、奈良県ではこの免許を取るの予約待つのが全国で一番長かったように聞いておりますが、現在は、これはどのようになっているのかお尋ねしたいと思います。

桑原交通部長答弁 今、委員のほうから、高齢者の免許更新ということで、いわゆる高齢者講習の受講待ちが長いということだろうと思っております。これに関しまして、まず、全国的に運転免許の更新時の認知機能検査、それから高齢者講習、これの受講待ちが長期に及んでおるところなんですけれども、特に当県におきましては、委員お述べのとおり、ことしの3月末現在で、検査と講習を合わせて平均で8カ月待ちというように、全国で最長という結果になっております。

そこで、県警察におきましては、今年度、4月に入ってから、運転免許課の体制を強化いたしまして、認知機能検査、これを全県公安委員会、つまり警察で実施をしております。それから、高齢者講習につきましても、運転免許課における実施数、これを拡大いたしまして、それからあと、また、この高齢者講習につきましても、自動車教習所に委託をしておるんですけれども、ここの自動車教習所においても講習の実施を拡大していただくというような対策をとりまして、受講待ちの解消に向けた対策を推進しているところでございます。その結果、先ほど申しましたように、本来3月末時点で、まず認知機能検査、この認知機能検査の待ちが3月末現在で4カ月、これを超えておったんですけれども、これが現在、予約受け付け後、1カ月未満にまで短縮をされております。それからまた、高齢者講習につきましても、自動車教習所によってばらつきはあるものの、8月末現在で平均3カ月待ち

にまで改善をしているところでございます。引き続きまして、さらなる受講待ちの短縮ということで努めてまいりたいというふうに考えております。

今井光子議員 改善で努力していただいているということは話でわかりましたけれども、やはり3カ月待つというのはかなり待つという感じになりますので、さらに改善をしていただきたいということをお願いしておきたいと思います。

桑原交通部長答弁 済みません、ご質問ではなかったんですけども、今回のこの補正予算におきまして、高齢者運転者対策ということで3800万円を計上させていただいております。これにつきましては、今申しましたように、高齢者講習のこの受講待ちを解消に向けた対策ということでお願いしているところでございます。これにつきましては、運転免許課の高齢者講習の受講数をさらに拡大しようということを考えておまして、今現在、二輪の技能コース、これがあるんですけども、これを高齢者講習用に改修するというので、それからあと、また、検査会場の整備を行うということで補正を要求を上げさせていただいているところであります。これらの施設の整備によりまして、さらなる解消を図ってまいりたいと考えておるんですけども、ただ、今後、団塊の世代の方が高齢者講習の対象となってくるということですので、まだまだ受講者数の増加が見込まれるというような状況になっております。警察といたしましては、今申しました補正予算でのコースの改修、これらの施設の整備を行って、その上で、さらに高齢者講習指導員の増員でありますとか、それから、講習車両の増強配備というような対策、これを行いまして、さらに受講待ちの日数を短縮してまいりたいというふうに考えておりますので、ご理解よろしくをお願いいたします。

(了)